

| 日 時：平成24年4月17日（火）14：00～17：00 | | | 会 場：地盤工学会地階A会議室 | | |
|------------------------------|---|-------------|-----------------|-------------|---|
| 委員長 荒瀬 義則 | ○ | 幹事長 楡井 一昭 | ○ | 幹 事 橋 伸也 | × |
| 幹 事 仲山 貴司 | ○ | 委 員 土屋 光弘 | × | 委 員 細野 康代 | × |
| 委 員 山木 正彦 | × | 委 員 深田 久 | ○ | 委 員 福村 一成 | ○ |
| 委 員 小川 鉄平 | × | 委 員 和田 健一 | × | 委 員 森口 周二 | ○ |
| 委 員 杉本 映湖 | ○ | 委 員 中井 宏 | × | ワザハバー 李 圭太 | × |
| ワザハバー 清木 隆文 | × | ワザハバー 川井 康右 | × | ワザハバー 高橋 直樹 | × |
| ワザハバー 岩波 基 | × | ワザハバー 小川 和也 | ○ | 事務局 永田 満枝 | ○ |

《報告・確認事項》

1. 議事録担当者……(別紙-1)
 - ・森口委員が指名された。
2. 前回議事録(2/3)の確認……(別紙-2)
 - ・承認された。
3. 前回事業部会(2/24)報告……(別紙-3)
 - ・荒瀬委員長より報告があった。
 - ・各委員会の内規の確認・修正作業の依頼が報告された。次回以降の委員会で検討する。
4. 理事会(2/24・3/16)報告……(別紙-4)
 - 2/24の理事会について
 - ・荒瀬委員長より報告があった。
 - ・事業部の役割を明確にすべきという意見があり、これについて検討中であることが報告された。
 - 3/16の理事会について
 - ・荒瀬委員長より報告があった。
 - ・ダイバーシティー促進のための会費免税申請者30名について承認されたことが報告された。この制度が学生から正会員への円滑な移行に寄与している可能性があるため、今後この制度の周知に努めてほしいとの要請があった。
 - ・東日本大震災の報告書の編集準備委員会立ち上げについて説明があった。2014年の出版を予定しており、出版企画委員会も関係することになる。
 - ・新刊本(役立つ地盤リスクの知識とその対応)の趣意書が提出され、出版が承認されたとの報告があった。
 - ・「地盤品質判定士(仮称)」の設置に関する説明があった。
 - ・編集委員会構成について、会長より女性会員の積極的参加を進めてほしい旨の要請があったと報告された。
5. 事業部関係収支報告……(別紙-5)(添付資料-1)
 - ・永田事務局より平成24年3月末までの出版事業の実績と在庫数の状況等について説明があった。
 - ・2月と3月の販売数が伸びた。そのため、当初の予定であった予算の6割を上回り、7割程度まで達した。
 - ・2月と3月に販売数が伸びる傾向は毎年であるが、昨年度は特に伸びた。HP、チラシ、メールニュース等のPRの効果が出ているのではないかと意見があった。
6. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……(添付資料-2)
 - ・永田事務局より出版作業進捗状況について説明があった。
 - ・本年度の出版物として、資料内記載の「実務シリーズ30土の締固め」、「実務シリーズ33地盤改良の調査・設計から施工まで」、「入門シリーズ38地盤工学における性能設計入門」、及び、地盤工学におけるリスクマネージメントに関する事例研究委員会の成果の書籍化の件を合わせて、合計4件が期待される。
 - ・来年度以降の出版物の予定がないため、新刊本などについて検討する必要がある。
 - ・「実務シリーズ32河川構造物の調査・設計から施工まで」と「新指針に対応した・・・土と基礎の設計計算演習」については、進捗が確認できていないため、担当者に確認をとる。今後の作業の継続が困難と判断される場合には、企画の打ち切りも検討する必要がある。

7. その他

セット de お得の実施について……(添付資料-3)

- ・「セット de お得」について、永田事務局より平成 24 年 4 月 17 日までの実績の説明があった。
- ・まとまった数の購入もあり、効果がうかがえる。私企業の会員の購入が目立つ。
- ・「セット de お得」は 2 年前に一時的なキャンペーンとして始めたが、好評につき昨年も継続した。しかし、制度の内容や割引率などについての見直しが必要である。これまでの実績データを分析してより効率的な方法を検討する。これについては次回以降の検討項目とする。

アカデミックロードマップと発展史・人物史準備委員会報告……(別紙-6)

- ・荒瀬委員長より報告があった。
- ・本委員会は 8 つの小委員会で構成されるものであり、現状では各小委員会の委員長が決定しており、今後委員の選出や具体的な活動が始まる予定であることが報告された。
- ・人物史については、書籍として出版することを予定しており、これに関して出版企画委員会も来年度より関わることになるとの報告があった。

著作権規定について……(別紙-7)

- ・福村委員より説明があった。
- ・規程の変更案については 23 年度に検討が停滞していた。今後どのように進めるかを総務部と協議する。過去の出版物について順次著作権・著作権利用許諾の有無を確認し、オンデマンド出版再開を視野に今後の著作権・利用許諾の取得を含めた、所有する著作権等の整理について具体的に総務部と協議して進める。
- ・今後出版するものについてはよいが、既に出版したものについては著作権の取り扱いが難しい。農業農村工学会では、学会誌等に案内を複数回出して、意見がなければ著作権利用許諾を得たものとして処理している。

既刊本見直し評価に基づく改訂、増刷作業の進捗報告……(別紙-8)

- ・永田事務局より増刷作業に関する情報（販売数や在庫数など）について説明があった。
- ・以下の書籍の増刷や改訂が決定された。

| | | |
|---------------------------|------|-------|
| 入門シリーズ 34 地下水を知る | 増刷なし | |
| 入門シリーズ 35 地盤・耐震工学入門 | 増刷 | |
| 入門シリーズ 36 わかりやすい構造物基礎 | 増刷なし | |
| 根切り工事と地下水 | 増刷なし | 改訂を検討 |
| 実務シリーズ 27 薬液注入工法の理論・設計・施工 | 増刷 | |
| N 値と C・φ の活用法 | 増刷 | |
| FEM シリーズ 2 弾塑性有限要素法がわかる | 増刷 | 改訂を検討 |
| 建設計画と地形地質 | 増刷なし | 改訂を検討 |
| 杭基礎のトラブルとその対策 | 増刷 | 改訂を検討 |
| 地盤改良のトラブルの要因とその対策 | 増刷 | 改訂を検討 |

- ・改訂予定のものについては、前編集委員長に連絡をとって意見を求める。

《審議事項》

1. 新刊本（性能設計）の初版印刷部数について……(別紙-9)

- ・永田事務局より「入門シリーズ 38 地盤工学における性能設計入門」の初版印刷部数について説明があった。
- ・評価シートの結果や入門シリーズの実績を考慮して、初版印刷部数は 1000 部に決定した。

2. 新企画出版趣意書および出版計画書について……(別紙-10)

- ・以下の新企画書籍について出版趣意書が提出された。

トラブルと対策シリーズ 1 「杭基礎のトラブルとその対策（改訂版）」

永田事務局より説明があった。2 年後の出版を目指す。本趣意書は事業部会で審議事項として提出する。

土木技術者のための個別要素法マニュアル（仮称） ※DEM 講習会資料の書籍化

森口委員より説明があった。DEM 講習会を始めたのは土木学会の委員会であるため、出版に向けて土木学会との協議が必要である。また、設置が予定されている TC105 国内委員会でも類似の書籍の出版を予定している。このような現状に対して、土木学会と TC105 国内委員会の意向を調査した結果が提出された。土木学会から著作権料の発生する委託出版の形態を案として示されたが、地盤工学会としては、出版作業はどちらか一方の学会が担当して、もう一方は書籍を原価で買い取る形式が望ましいとの結論になった。森口委員が地盤工学会の意向を土木学会に伝えて、今後の方針について相談することになった。

TC105 国内委員会については、出版企画委員会からの出版を望んでおり、今後必要に応じて協議を行う。

- ・以下の書籍について出版計画書が提出された。

役立つ地盤リスクの知識とその対応～地盤にかかわるリスクの軽減とトラブルの解決のために～

3. 都市の地盤 執筆者への印税の支払いおよび執筆者向け特別価格について……(別紙-11)

- ・永田事務局より説明があった。
- ・執筆者への印税の支払いと執筆者価格について編集委員会の検討結果が示された。これらの案を理事会に審議事項として提出する。

4. 翻訳本契約について……(別紙-12)

- ・永田事務局より説明があり、韓国側担当者から翻訳の進捗状況についての連絡があったことが報告された。
- ・翻訳作業は現在進行中であり、出版社は地盤工学会が例として示した「歐歌書館」に決定したとのこと。また、韓国側は契約書に記載されている「契約後 24 か月以内の出版」の期限を守れるかどうかということに不安があるとのことだったが、基本的には契約書の内容どおりの期限で進めてもらうことになった。
- ・出版作業の進捗状況の定期的な報告をお願いすることになった。

5. 次期委員構成について

- ・荒瀬委員長より次期委員構成について説明があった。
- ・編集委員会の幹事を務めていただく方にはオブザーバーの継続をお願いする。

6. その他

- ・仲山委員より電子出版に関する調査結果についての説明があった。独自のシステムを作るのは高度な作業となるため、専門の業者に委託するのが現実的である。ただし、前回の調査から時間が経過しているため、もう少し調査を進めて次回以降の委員会で報告することとなった。
- ・次回委員会後に事業部全体の親睦会を予定している。委員会も合同になる可能性がある。

次回委員会開催日：平成 24 年 6 月 1 日（金）

地盤工学会 会議室